

埼玉岳連

埼玉県山岳連盟
埼玉岳連報 第34号

発行者 森下 健七郎
発行所 岳連事務所 天野賢一方
〒333-0823
川口市石神179-40
編集人 岩井田 正昭
発行部数 1600部



チャンドラタール 湖に映るまき雲

巻頭言

日山協・自然保護委員長に就任して

日本山岳協会（JMA）平成21年度通常総会（5月17日）で自然保護担当を、あずかりました。

「ドッキリTVでは!？」くらいの驚きでした。

自身2000年の富山国体終了直後の10月から「埼玉国体成功に向けて」を合言葉に国体専門委員に加わり、宮城国体から新潟国体の9回の国体に関わって来ましたが「想定外」でしたし、総会の2日後、5月19日に自然保護・定例専門委員会に出向いた長谷川に、何より委員の皆さんが驚いていました。

4ヶ月が経った今でも忘れられない思い出となる委員会に、苦笑してしまいます。

委員長就任に際して、私が委員の皆さんにお約束した事は「①・まずは顔合わせ・長谷川を知って頂きたい。（気心の意味）次に②・心合わせをしましょう・楽しい委員会運営に努めること」を1年間の取組みとしていくことです。

「山の自然保護」は岳人すべての共通認識ですから、私が云うに及びません。

いま、日本山岳協会は満50歳と成りました。来年はいろいろな記念行事が、めじろ押しとなる予定です。

中でも「山岳・自然保護活動」は、広範で飛躍的な取組みが求められてくることは必定です。

きたる「③・力合わせの取組み」へ向けて、是非一緒に参画して下さい。

よろしくお願ひ申し上げます。

長谷川 茂

新潟国体・関東ブロック大会報告

強化委員会 小茂田利孝

新潟国体・関東ブロック大会が千葉県幕張総合高校を会場に7月25、26日に行われた。

初日は男女共にリード競技が行われた。結果は先ず少年女子では是永つぐみ・家政大付属が3位、坂戸高・生井沢知佳が11位でチーム4位(3位と僅差)と望みを繋ぐ。期待の少年男子では細田巧・久喜工高が5位、山崎卓也・庄和高が12位でチーム5位とかなり苦しい結果だった。成年女子は直前で選手が揃わずやむなく「棄権」となった。

2日目のボルダリングとの「総合で3位以内」が本国体に出場できる。ボルダリングで少年女子の是永つぐみ・5位、生井沢知佳8位でチーム4位(3位と僅差)、「総合4位」で惜しくも本戦出場を逃した。苦しい少年男子では細田巧が5位、山崎卓也が6位でチーム3位と大挽回し「総合3位同着」でポイントで辛くも予定の本戦出場を手にした。

JOC(桜が池Cセンター)大会報告

強化委員会 小茂田利孝

スポーツクライミング・第11回JOCジュニアオリンピック大会(富山県南砺市・桜が池クライミングセンター)が8月14、16日で行われた。埼玉からは高校以上男9名、学芸大・小峰直城、久喜工高・細田匠、小松原高・弓田溪介、庄和高・山崎卓也・宮尾秀平、鴻巣高・小宮大樹、坂戸高・宮倉大輔・山本大将・新井康司、女5名。家政大付属・是永つぐみ、坂戸高・生井沢知佳、庄和高・海老沼かおり、鶴野萌、尾崎友美、計13名。その他中学以下で男4名。是永敬一郎、波田悠貴、青木大輔、加

藤亮央、女2名。尾上彩、坂井絢音、計6名で総勢20名の参加だった。(因みに全参加者は246名)

予選は全カテゴリー共「2ルートをフラッシングで登るワールドユース方式」が今年度から採用された。しかし、準決勝は無く、「予選・決勝」の2ラウンド方式で、決勝に進出するのは至難の業だ。又、男女別に全カテゴリー同一ルート設定なので年齢に関係なく成績が判る方式である。

1、2日目は予選が行われた。予選を通過して決勝に駒を進めたのは男子Jr小峰直城・同着1位、YA細田匠・同着1位、YB是永敬一郎・10位の3名、女子YA是永つぐみ・5位、YB尾上彩・同着1位の2名、男女計5名の選手だった。

3日目の最終結果は男子Jr小峰直城4位(惜しい)、YA細田匠・8位、YB是永敬一郎・10位、女子YA是永つぐみ・8位、YB尾上彩・1位となった。特に圧巻だったのはYB尾上彩(川口市南中)は何と!上のJr・YAの選手を押さえての悲願!の総合優勝を飾ったのだった。「おめでとー!彩ちゃん」天晴れである。来年は千葉県体に参戦できる!



左・尾上選手、中はセッターの松島暁、右・優勝の沼尻選手

平成21年度「埼玉県県立自然公園」

清掃登山を終えて

県岳連・自然保護委員会

委員長 岩崎 繁夫(戸田山の会)

天候の不安定な日々が続いている中6月6日(土)は雨、7日(日)晴れ両日にわたり(実施日異なる山岳会有り)加盟17山岳団体の会員249名の御協力に依り実施する事が出来ました。(他の日に実施した山岳会3団体。計220団体が参加)約104Kg可燃ごみ、約781個の空き缶、約94本分のガラス瓶、106本のペットボトルなど多くのゴミを山から回収出来た事は加盟各山岳会、会員の皆様に御協力を戴いたから出来たことです、御協力に感謝とお礼申し上げます。

昨年度の高校総体の会場地であった白泰山非難小屋付近や白岩小屋の周囲、お清平と同様に古き良き時代に山のゴミを「埋設処理」した物が永年の風雨にさらされ今日、地表に現れ見苦しい状況になっている箇所は「武川岳山頂」「鳥首峠」などの山頂や峠の休憩場所に多く残っています。埼玉県山岳連盟、自然保護委員会としてはこれらの場所のゴミを重点的に何時かの時点で回収するか?また、主要登山道の休憩場所付近は「トイレ」となりうる場所でも有りますので、今後の課題として「埼玉県立自然公園」の各登山口で清掃が可能な場所(車が入れる場所)に「トイレ」の設置を出来ないか?併せて関係機関と協議検討する必要があるのではないかと思います。上田埼玉県知事が率先して推進しておられる「水と緑の再生事業」を推進するに關して「全ての源は山にある事を考え」廃墟となった集落跡「白岩集落



エコ山の会・45名もの参加載きました。

や山中の廃屋周辺のゴミ(生活ゴミ)「林道脇に不法投棄された産業廃棄物、家庭ゴミなども併せて撤去を行なう必要が有る」と思います。県環境部や農林部が共同で自然環境の整備に力を入れても良い時期に、時代に来てはいませんか?御検討方!今年度の清掃登山の開催にあたりゴミ処理、保管、駐車場などで御支援と御協力を戴きました、埼玉県環境部自然環境課や「飯能市」・「日高市」・「秩父市」・「毛呂山町」・「皆野町」・「東秩父村」の関係市町村及び民間企業の「(株)三国コカ・コーラボトリング社」・「西武鉄道(株)武蔵横手駅・吾野駅」・「JFEミネラル(株)武蔵野鋳業所社」・「さわらびの湯」・「名郷民宿」・「西山荘」・「橋立鍾乳洞」・「土津園」各社の関係者の皆様にお礼申し上げます。

《トキめき新潟国体》埼玉県選手団

結団式・壮行会を開催

去る平成21年9月16日(水)、埼玉会館大ホールにて第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」埼玉県選手団結団式・壮行会が開催されました。新潟国体へ参加するすべての競技団体の監督・選手、役員・関係者が一堂に会し互いの健闘を誓い合い、各競技選手団の紹介等が行われました。山岳からは松井監督以下、少年男子の山崎卓也選手(県立庄和高校)、細田匠選手(県立久喜工業高校)の両選手が出席し、埼玉の代表として好成績を挙げるべく更なる気持ちの高ぶりを感じてくれたものと思います。

山岳競技は10月3日〜5日の3日間にわたり予選・決勝が行われます。

埼玉県選手団の活躍を心よりお祈り申し上げます。
埼玉県山岳連盟 理事長・天野賢一

【山岳競技】

監督 成年男子 佐藤 豊・(株)アルテリア
少年男子 松井恒和・県立上尾橋高(教)

選手 成年男子 古川 慧・(株)シヨーウ
少年男子 角田大樹・早稲田大学

山崎卓也・県立庄和高校
細田 匠・県立久喜工業高校

がんばれ埼玉!!



左が細田選手、右が山崎選手



埼玉会館大ホールで行われた結団式・壮行会

日山協・国際部委員総会及び

海外遭難対策研究会報告

期日：平成21年6月20日(土)～21日(日)
会場：三保研修館(東海大学社会教育センター内)
参加者：(県岳連・海外委員会)
加藤富之、鳥辰克、塩谷壽子、岩井田正昭、小茂田利孝、天野賢一、鈴木百合子・7名参加

6月20日(土)：国際部委員総会

20年度事業報告及び収支報告、21年度事業計画及び収支予算
UIAA及びUAAAの報告、50周年事業、今後のあり方について他

・今年、1日目を総会に変更。各岳連での課題報告の発表があった。

6月21日(日)：海外登山遭難対策研究会 報告

「ウィンタークライマーズミートに参加して」講師 澤田 実 氏(国際部常任委員)

・明神岳でのウィンターミーティングの2回目を予定。

・英国へ2名派遣。馬目氏、杉野氏。フリークライミングのみが目立っているが、若い世代がアルパインクライミングをおこなっている事に注目したい。

・最近、馬目氏が栃木県で公演をおこなった。

報告 「静岡市山岳連盟ブロードピーク雪崩遭難の教訓」講師 小田直美氏(静岡山岳会会長)

・荷上げ時の下山で雪崩が発生。下山ルートが悪かった。

・雪崩の爆風は、70km程もあった。
報告 「かんぼ生命保険について」

講師 松永義夫 氏(静岡市山岳連盟会長)

・以前からある保険。埼玉県ではマカール遠征時に加入した事がある。

・死亡時の保障が多く、保険料が日山協などと比べて安い。但し、捜索費用は出ない。

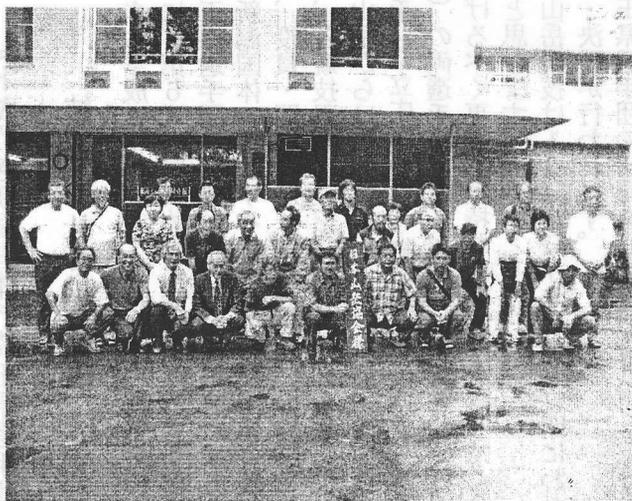
講演 「山の息子を語る」講師 加藤嘉晴氏(登山家故 加藤慶信氏の父親)

・明治大学山岳部で、クーラカンリ遠征にて亡くなった。

・父親の職業がアナウンサーであった事で、講演を依頼した。

肉親の講演は、聞いていて辛いと感じた。

県岳連・海外委員長 天野賢一



三保研修館(東海大学社会教育センター)に参加した委員

《チャンドラタール》トレッキング報告

遠峰山岳会 山際 登志夫 記

〔日時〕 2009年8月7日(金)～19日(水)

〔場所〕 インドヒマラヤ チャンドラタール

〔参加者〕 8名
塩谷寿子(大宮山岳会)、岡野次男(遠峰山岳会)、小澤登志江、宮澤喬男、呉吉煥(韓国)、辛鍾遠(韓国)、Rajeev・Tallyan(インド)、山際登志夫(遠峰山岳会)。

〔日程〕

- 8/7 成田～香港～デリー 機内 泊
- 8/8 早朝デリー着～夜行バスで マナリーへ
- 8/9 早朝マナリー着 温泉・観光 マナリー泊
- 8/10 Biji Maharaj 寺院登山 マナリー泊
- 8/11 ロータンパス～タダプル テント 泊
- 8/12 クンズパスの丘 500m～チャンドラタール テント 泊
- 8/13 チャンドラタール 4270m テント 泊
- 8/14 チャンドラタール～マナリー マナリー泊
- 8/15 観光 夜行バスでデリーへ 車内 泊
- 8/16 デリー市内観光・買物 デリー 泊
- 8/17 タージマハール・アグラ城観光 デリー 泊
- 8/18 市内観光 買物 夜 デリー 発
- 8/19 日本(成田)着

【行動記録】

8/7・15:35 成田発～香港経由～翌日デリー02:05分着
8/8・先に着いていた山際とデリー在住の宮澤さんで出迎え後宿泊先に移動。今回は宮澤さんの会社のゲストルームに宿泊する。午後から食料などの買物に出かける。夕刻からマナリーに向かうボルボバス停に移動。

バスが来るまで「チベタンマーケット」でインドの土産や文化に触れる。夜行バスは比較的にクワイニングが出来て冷房付の高級バスだが道路が悪いので常に揺られながら582kmを走る。

8/9・バスのエンジントラブルで2時間ほど遅れて09:30過ぎマナリー2,050m着。マナリーから北に約20km、温泉で有名なヴァシスト村にあるダルマホテルにチェックイン。このホテルはヒンズー寺院の温泉の上に位置した高台にあり、部屋は最上階のスイートを確保した。部屋からは眼下に村が拡がり、正面には5,000m級の山々が河の向うに見える絶好の景観である。温泉に行くが湯温が高すぎてかろうじて首まで浸かる。この寺院前には諏訪大社の「御柱」の起源と言われる柱が立っている。

マナリーはインドの「軽井沢」言われるリゾート地です。デリーが40℃を超える5月頃はマナリーから車で90分ほどのロータンパスではデリーでは見ることがない雪で埋まっているので人気が高い。

8/10・高度順化登山としてBijli Mahadev 寺院に登山に出かけた。この地域では有名なヒンズー寺院であり多くの人々が登山道を歩いていた。途中登山道の両側に大麻が生い茂り文化の違いを感じる。

この寺院にも「御柱」が立っていた。元は避雷針の役目があったらしい。眼下にはベアス川の谷が一望できた。帰る途中にマナリーで食料など調達した。ここでエベレスト登頂したラジーブ・シャルマ氏を紹介された。彼は山田昇さんや尾形好雄さんを親交があるとのこと。マナリーには多くのアルピニストが住んでいるらしい。8/11・朝食をヒマラヤの山並みを見ながらホテルの

ベランダで取る。7時、車3台をチャーターしてチャンドラタールへ向かう。今回はガイドのバギーさんとコック、コック助手3名で構成。歩く距離が短いのでポータは無しとした。

途中のロータンパス3,980m途中でお花畑を散策した。花に埋もれた谷川には「幻のブルーポピー」も多く見られて感激する。ロータンパスでしばらく歩いて4,000mを超えたところで昼食をとる。途中の草原も多くの花を見ることが出来た。

パスからチャートル谷に1,000m下りをチャンドラ川に沿ってタダル・プー(3,760m)へ向かう。途中の茶店で地酒のアラックとチャングを購入。チャングは韓国のマツカリと同じで辛さが作り方を確認して全く同じものと判明。

モンゴル族の元が韓国を支配したときに伝えられてそうだ。アラックは100円/Lでチャングは50円/Lであった。タダルプーは谷底にある平坦地の放牧地で小川も流れていて快適なキャンプ地である。

8/12・今日はチャンドラタールに向かう。チャンドラ河に沿った道、未舗装の悪路で車は上下左右の揺れが止まる事が無い。途中で見える花がしばしの安らぎを与えてくれる。道路の両側にはCB山群といわれる記号名の山々が谷に迫っている。時々長大な滝が見られる。ガイドのバギーはCB14(6,078m)に登頂している。この山域には詳しい。

途中仏塔のあるクンザスパス4,551mに立ち寄り、そこから少し登り4,605mの頂に出た。ここからはチャンドラタールやCB山群に抱かれた氷河も見られ、タルチョも風になびいていた。ここからタールまではトレッキングルートもある。

る。車はチャンドラタール手前で車止めがありここからは荷は車から馬に乗せてテント場に運んだ。テント場はタールの水が流れ出る小川沿いにあり、炊事は全てこの水を利用した。チャンドラタールは4,270mにあり湖畔は花に埋まり、ヒマラヤエーデルワイスの群生はいいたるところに見られる。近くには温泉があり緑とヒマラヤが素晴らしい景観を見せてくれる。テント場にはドイツ人やイスラエル人のパーティーもいてにぎやかな雰囲気である。

8/13・今日は終日チャンドラタール周辺の散策と休養日。夜明け前に丘の上からヒマラヤの夜明けを堪能した。タールをゆっくり周回して各自思い思いの楽しみ方でゆったりとした時間を過ごした。岡野さんと山際は4,270mで水泳して高地記録を更新した。

食事はバコラという野菜てんぷらや持ち込んだ4羽のニワトリのから揚げなどと定番の各種カレーやチャパティが主である。しかし、持ち込んだ「そうめん」がやはり最高に旨かった。

8/14・チャンドラタールを後にしてマナリーまで走る。天候に恵まれて晴天が続いたが荒れるとチャンドラ河から近い道路や両側の谷川からの水が道路を洗う場所が通行出来なくなる恐れが大いなるルートである。途中で何度かヤギや羊の群れに道路を塞がれる。この荒廃した厳しい自然環境の中でも人々の生活に触れられ、たくましさを感じる。ロータンパスに近づくと雨であった。まだモンスーンが開けていない。道は泥んこにぬかるみ渋滞も起きていた。

8/15・朝からマナリー観光と買物出かけた。昼はチベットの経営のレストランでマトンすき焼きなどを食べるが味は今ひとつであった。夕刻か

ら夜行バスに揺られてデリーに向かった。
8/16・デリーに朝8時過ぎに到着。世界遺産クツブ
ミナールを観光後に午後からマネサールの長さ
1,000mで5階の建ての巨大モールにて買物。夜
はレストラン内で醸造している生ビールを堪能
した。

8/17・チャータバスで早朝からタージマハル観光の
ためにアグラに移動。終日観光した。

8/18・フマユーンとインド門など観光後買物をして
23:45発の便で帰国に途についた。

8/19・成田に14:35 帰国

山際はこの後しばらくデリーに残り、古い友人
のアルパナ兄妹(インド登山界で実力者だった
フカム・シン氏の子供)とも会い山岳情報と今
後の協力了解を得た。また今回同行したラジ
ブ氏(インド登山学校上級卒業生)は日本人向
け専用のトレッキング旅行社を立ち上げたので
インドヒマラヤの情報は山際まで問い合わせく
ださい。



ケンザンパス(4,551m)の丘にて

《ガンシエンカ雪峰》遠征報告

県岳連・海外委員会合同隊 隊長：大谷和男

1. はじめに

筆者は、上海駐在員時代の2007年8月に探検
気分からこの地を訪れた。当時は外国人未開放地帯
で、天気も悪かったことから氷河の末端まで歩き引
き返した。どういふ縁か今回、再度その地へ遠征と
いうことになり、気を取り直して出かけることにな
った。遠征メンバーは以下の通りである。

隊長・渉外：大谷和男(深谷山岳会)、登攀隊長：
天野賢一(遠峰山岳会)、装備：今雪雅夫(あゆむ
山の会)、気象：蛭川幸榮(深谷山岳会)、食料：
内海正人(浦和溪稜山岳会)。

2. 行動記録

①BCまで

*8/8(土)・成田(10:55)～上海浦東～西寧(18:20)

～ホテル(19:15)

西寧のホテルで青海省の山岳協会から登山許可証
を受け取り打ち合わせる。ガイド兼連絡係兼通訳は、
チベット人の尼赤(ニーチャー)。すぐに打ち解ける。

*8/9(日)：ホテル(8:10)～ダム～大坂峠～青石嘴
(11:50/13:45)～七彩瀑布・3600m(14:25/16:15)
～BC・4150m(18:40)

西寧では雨の中出発したが、大坂峠あたりから天
気回復し皆元気になる。青石嘴で昼食をとりBCま
での馬の手配を済ます。登山口の七彩瀑布までは車
で入り、そこから徒歩でBCまで進む。荷物は馬で
運び、サブザックを背負い出発。すぐに富士山の高
さを越え、2007年には見ることができなかったガン
シエンカ雪峰の全貌が見える。標高4000mも越え、

平坦な台地をガンシエンカ雪峰を見ながら進むとB
C到着。

②登山活動

*8/10(月)：BC(8:00)～氷河手前・4195m(9:30)

～C1予定地(13:30/14:40)～BC(17:30)

*8/11(火)：BC(10:10)七彩瀑布(11:10)

高度障害が出ながらも今雪隊員を除く4名がC1
を目指し出発。今日も天気がよい。氷河の手前で休
憩を取ったとき、いつまで好天が続くか心配で空を
見上げて決断した。まだ12時間は行動できる。天
気がよいときを有効に使い、ここからロングアタッ
クをかけるという作戦に変更した。荷物をデポして
氷河に入る。高度を上げるに従いクレバスの数が増
す。雪に埋もれ分りにくい。尼赤が慎重にルート
を取る。途中で蛭川隊員撤退し、3名でアタックを
かける。C1の手前には急登があり、登り切るとク
レバス帯が続く。C1に予定していた
ところもクレバスだらけでよいところではなかった
そしてさらに驚いたのは、我々が登ろうとしている
ルートを目の当たりにすると、目の前に大きなクレ
バスがあり、その先の雪壁がかなり急で、登ったら
降りてこれられないという状況だった。基本的に装備が
足りないかと判断し勇気ある撤退を決意。BCへ戻り、
翌日下山した。

③下山後

*8/12・13(水、木)：青海湖、西寧市内見学

*8/14(金)：西寧～上海

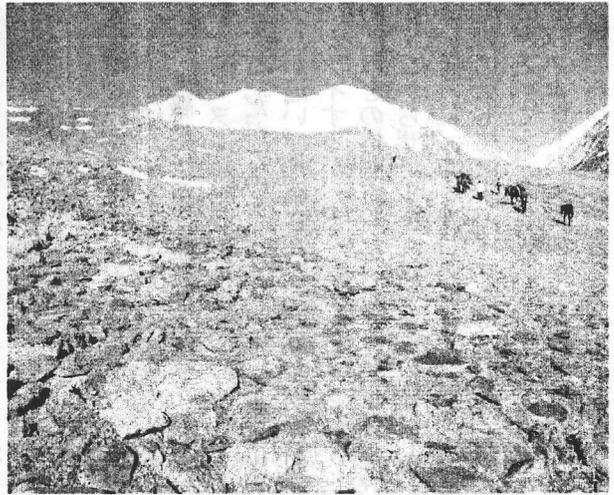
*8/15(土)：上海浦東～成田

3. 結言

中国青海省の登山者ゼロの地帯に入り、登頂は出
来なかったが、事前情報も極めて少ない探検的な登
山を行うことが出来た。中国に、探検的な登山の可
能性を見出すことが出来た。以上



ガンシェンカ雪峰を見ながらBCへ向かう



最終的に断念した雪壁

前穂高岳・屏風岩

東壁ルンゼ／雲稜ルート

2009 夏合宿 深谷山岳会 岡田 修 記

日程：2009年8月13～16日

パーティ：加藤富之・岡田 修

8/13 (1日目) 雨 入山日 横尾まで (BC)

05:00 岡田宅発。もう明るくなるなか出発。高速もたいして混んでなく、順調に松本ICまで。高速を降りても順調に進み、いつもの沢渡第2駐車場へ。係員の誘導で車を止める。7割方の入りかな。パッキングをしていると雨がチラホラ。なんとか横尾までもつてくれ。バックキングを終え、二人じゃ高いからタクシーは止め、シャトルバス乗り場へ1000歩く。08:47 シャトルバス乗車。6割の乗車率で楽々座れる。ザックはトランクへ。30分ほどで上高地バスターミナルに到着。雨が本降りに。まいったな。モチベーションは下がりまくり。登山届を出し、ザックカバーをし傘を準備。

09:30 歩き始め。携帯傘は柄が短く、大きいザックでは何ともさしづらい。人は結構多いかな。

10:10 明神着。人が一気に少なくなった。

11:00 徳沢着。人が少し増えたね。一服してるとコココーラの配送車がやってきた。うーんなんだかなー。

12:10 横尾着。雨は止む気配を見せないの、予定していた岩小屋を渡渉せず、横尾にBCを張ることに決定し、小屋でビール。14時すぎ雨が小降りになったのを見計らい、天張る、このあとは飲んで寝て、飲んで寝てを繰り返し、就寝。雨はずーっと降っていた。

8/14 (2日目) 晴 乗壁ルンゼ

03:30 起床。眠い。でもいい天気だ。今日は4年前のリベンジで東壁ルンゼ。気合いが入る。

05:00 BC発。明るくなって岩小屋まで飛ばす。そしていよいよ渡渉。距離は長いが浅瀬を選ぶ。

アホな岡山はこのために特ってきたビーサンをBCに置いてきてしまい、素足で渡渉。相変わらず痛冷たい。

05:40 1ルンゼ出合発。ゴロ帯をひたすら詰める。途中で屏風に朝日があたりいいかんじ。T4尾根を登るパーティのコールが聞こえてくる。

06:30 T4尾根取付着。雪渓は少し残ってる。待ってる人と登ってる人ですが10人以上いるから、大渋滞必至ですな。こちらは多分貸切でしょう。T4尾根出だしは濡れててやらしそだった。登攀準備をしトラバース開始。道が不明瞭で草だらけ。最初下に降り過ぎてしまい、戻って岩の基部から背の高い草の中を突っ込んだら、踏跡にでて、それを下る。道は石がゴロゴロで変わらず悪い。

07:00 東壁ルンゼ取付着。すげーコケコケだ。岩も濡れてて悪そう。草も増えてるみたい。こちらではのんびり飯を食う。

07:40 登攀開始。オーダーは前回と逆。さーて頑張りますか！、グレードは主観です。1P・加藤リード4級・50m。やはり悪いみたいで、左上するところでは難渋している。なんとか抜けるが、ビレイ点が見つからず、ハーケンを打ってビレイ。やはり甘くない。2P・岡田リード。3級+・30m。いくらか乾いてきて快適。3P・加藤リード。41・40m。右へカンテ状をフリーで越え、そこからポルトトラダー。シュリングはボロボロ。2か所ナッツでやり過ぎ。うーん登られてないな。4P・岡田リード。5級+・40m、とにかく出だしのフリーが悪く、このグレードをつけた。1か所リングが破断しててフィ

ファイでやり過ぎず。このアブミ2ピッチで二人とも足の指先が痛くなる。壁の傾斜がないので、アブミに乗るとつま先が岩に当たるのだ。5P・加藤リード。4級-A1・40m。バンドを左へ行き、スラブを直上。6P岡田リード。?級・40m。簡単な草付のわけがルートミスし、岩に行き詰る。懸垂でちよつと戻り、そこからは加藤さんに引つ張つてもらおう。ここは右から巻くようにいかんといかんね。見上げると上部岩壁が圧倒的な迫力で覆いかぶさる。7P・加藤リード。?級・50m。コンテも交え、草をかき分けバンドに出る。やっぱり前回より悪い。

12:00 T3着。いやーまた時間かかっちゃった。まいったなー。概して前回より悪いから仕方ないか。T3は草だらけ。バイルで草を刈つて座る場所を作る。上からはひっきりなしに水滴が落ちてくる。

12:30 8P・岡田リード。4級+A1・30m。前回フオローでも苦労したピッチ。チムニーからフェースでハンク帯を左から回り込み、凹角直上から左上し右ヘトラバースしてハンク上のビレイ点に行く。言葉にするとは複雑だが、とにかく盛り沢山で面白いピッチだった。ちよつと成長を感じる。9P・加藤リード。4級A2・30m。垂壁を右上し、数手のフリーを交えヌレヌレのスラブのボルトラダーで大ハンクを越える。だがこの大ハンク、?ほど張り出しているが、支点が遠い。加藤さんがシュリングを新設し、果敢にトライするが、どうしても越えられず、断念。一時間ほどの格闘だった。ビレイ中東稜下降。パーティがT2からザイルを回収できずに難渋していた。かわいそうに。声をかけられたが、10mほど離れていた。大してアドバイスもできなかった。翌日登り返すとのこと。うーん人ごととは思えん。今度は岡田のフオロー。ヌルヌルで足は滑るし、ズボンは真っ黒でハンク下へ。さて大ハンクをどうしようかと

考えたが、行きたい気持ちはあったが時間からして突っ込めばヘツ電必至。いいビバーク地もないからここからの下降を決める。

15:50 敗退決定。ハンキングビレイなんでザイル操作がややこしい。懸垂二発でT3に届いた。

16:30 T3着。また返り討ちにあったが、難易度は上がったし、前回より1ピッチ伸ばせたから、満足だ。また来よう。まったり休憩。T4へのバンドも草だらけ。1P懸垂すると先行Pがいて、登ってくるパーティがいるので持つてるとのこと。20分ほど待ち。2P目は50m一杯でもちよつと届かず、?歩く。3P・4Pで取付に戻る。

18:10 T4尾根取付着。すぐにクライミングシューズを脱ぐ。もー耐えがたい痛さになってた。

18:30 下降開始。なんとかヘツ電を免れるため駆け下りる。暑い汗が噴き出る。30分で渡渉点。もーお構いなしに靴のまんま入溪。素足でビクビク渡つたお返しで、ガンガン渡る。(意味なし...)。

19:10 岩小屋前。真つ暗の一步手前。目を凝らしてそのまま横尾まで歩く。

19:30 BC帰着。テント料を払うついでに、ビールも買う。テントは増えているようだ。結構疲れたが、22時近くまで飲んで食べて騒ぐ、他にも同じく騒いでるのがいたんで、怒られずにすんだ。明日はちよつと寝坊する予定。

■8/15 (3日目) 晴 雲稜ルート

05:00 起床。眠いし、疲れが残ってるなー。でも行くのだ。靴も乾かず、かなりモチは下がり気味。

06:45 BC発。本日はのんびり歩く。出発が遅いのね。ほどなく岩小屋。今日はピーサン持つてきたぜ!と安易に入溪すると、前日よりけるかに冷たい。すぐに感覚がなくなる。うーん昨日は雨であったかかったようだ。これがいつもの冷たさだなと

納得する。

07:15 1ルンゼ出合発。昨日と同じように1ルンゼを詰めるが、ベースはまったり。昨日より1時間半も遅いので、日は上がり、とても暑いのだ。たまらず1本休憩。

08:20 T4尾根取付着。今日は誰もいない。先を見ると、青白ハンク? (東海山岳会の方がトリプルジョーカーを登つてたもよう)・雲稜・東稜に人が見える。やっぱこんな遅く取りつくヤツはいねーよな。と反省しつつも、しばらく渋滞はないだろうから、うれしくもある。靴や靴下を乾かす。

09:00 登攀開始。今日は岡田が2P口をリードしたいとお願いする。最初から足先は痛い。二人とも1P・加藤リード。4級・30m。乾いてて特に問題なし。2P・岡田リード。5一級・40m。かぶり気味のカンテを乗越し中間部のフェースが核心。初めて来たときには、フオローでもきつかったが、安定して登れた。よしよし。3P加藤リード。樹林帯を?。

ここで加藤さんが体調不良を訴える。息が上がりがくつて、熱中症気味とのこと。しばし休憩。休んでると雲稜(たぶん)から結構な落石がT3から東壁ルンゼ下部へ落ちていく。こえ。昨日じやなくてよかったね。4P・加藤リード。3級・30m。T4手前の木陰着。もう日陰がないので、もう1回休む。加藤さんの体調も回復してきたようだ。

11:10 登攀開始。岡田は初めてだが、加藤さんは1回登つてるので、加藤さんには前回リードしてないピッチを登ってもらうことにする。1P・岡田リード。5級・50m。コーナークラックを順調に登つていくが、中間くらいのCS越えに手間取り、フルパワーでずり上がる始末。力を使い切ってしまった、その後の面白そうなフェースは人工しまくり。なさけなかり。ビナクル手前のテラスまで。2P・加藤リ

ード。5十級・40m。ピナクルを微妙な態勢で右へ越え、細かいフェースを右上し、バンドを左上して扇テラス。ここでも人工三昧。扇テラスはこの切り立った壁のなかのオアシスだ。1畳くらいあるかな。どっかり休憩。ほんに今日は緊張感ねーな。3P。岡田リード。A1・35m。きれいなボルトラダー。さすがメジャー。1か所ボルトのみで、シュリングかます。バンド手前で右上し、ブレイ点。4P・加藤リード。4級40m。3m直上しバンドを右へトラバース。かなり怖い。さらに草付を右上すると東壁ルンゼに出るが、さらに右上しブレイ点。フォロウ中、東壁ルンゼを登ろうと試みたがコーナークラックでムズイし、苔てるし、ピンは少ないしで、すぐ諦めてブレイ点へ。5P・岡田リード。5級十・45m。5m左上でテラスに出て、また東壁ルンゼに戻る。あとはルンゼを詰めるだけ。しばらくはコケが多く快適なピッチとはいいたい。概してホールドは細かくテクニカル。元気なら楽しめるピッチだろうが、やはり人工しまくり。1回楽を覚えちゃうと墮落していくのね。加藤さんが登ってきたときは16時。あと1ピッチどうしようかと相談したが、核心部は抜けたからもういいでしょう、とあっさり決まり、下降決定。

15:10 下降開始、さてどこまで降りられるだろう。まーメジャールートだし、登ってて結構支点はあったから大丈夫だろう。1P・45m。2P目のバンドまで。せまーい岩の間にスッポリ。扇テラスへのバンドへ続くピナクルだった。2P50m。T4バンドに届きません。途中に支点はあったが、先に降りた加藤さんはピナクルに捨て縄して、アブミ連結でクラムダウン。岡田はそこからザイル回収し、再度懸垂。T4尾根下降点でまた休憩。今日は休憩三昧だな。あとは昨日と同じ。

18:10 T4取付着。まずは靴を履き替える。おー乾いてるぜ！。今日イチでうれしかった。今日はヘッ電覚悟でまったり休憩

18:40 下降開始。今日は疲れてるし、スロー。渡渉は、せつかく乾いたにもかかわらず、靴のまま。明日は下山だけだから、どーにでもなれってかんじ

19:25 岩小屋着へッ電装着。やつぱ歩きやすいや。19:45 BC着。ふー終わった。前日と同様、テント代を払い、ビールも買い、宴会突入。疲労感と満足感にひたりながら、残った酒を飲み干し22時すぎ溶けるように眠りに就く。

■8/16 晴 下山日

05:00 起床。ちと飲みすぎたみたい。朝日に輝く前穂東壁がきれいだ。ちんたら下山準備をし、世話になった屏風にさよならする。また来るぜ！

07:40 横尾発。

08:25 徳沢着。山菜そばに生卵と生ビール。豪勢な朝食だ。

09:15 徳沢発。

09:55 明神着。一気に観先客が増える。1匹のカモがえさをもらいにウロウロしてた。

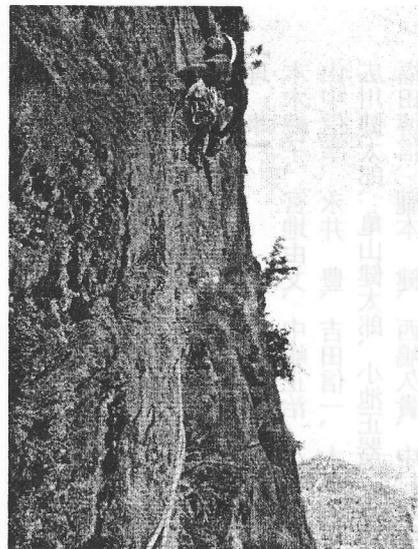
11:00 上高地着。タクシーはガラガラだったが、バスも似たようなもので、人が集まったら出発するというので、バスを選ぶ。1200円なり。乗客は10人ほどだが、すぐに出発。

11:40 沢渡駐車場着。駐車代は4日で2000円。すぐに坂巻温泉へ。ガテガラで快適だったが、湯が熱かった。すつきりし、いつもの「十字路」でランチ。混んでてなかなか出てこなかったが、やはり「和風ハンバーグ」は絶品。高速では妙義IC付近でいくらか渋滞したものの、順調に走れた。

16:50 自宅着。



雲稜3Pをリードする岡田



東壁ルンゼ9Pをリードする加藤

《県岳連・指導委員会からのお知らせ》

県岳連・指導委員長 野村 善弥

1. 指導員総会の案内

埼玉県山岳連盟所属・日本山岳協会公認指導員の皆様におかれましては、日頃より岳連活動に関しご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

早速ですが、平成21年度指導員総会・研修会を次の通り開催しますのでお忙しい中大変恐縮ですが万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますよう宜しくお願いいたします。また、総会に併設して指導者研修会を兼ねまして開催致します。

(4年に1度の指導員更新の研修会の一環として)

日時：2009年10月18日(日) 17:30～19:30

場所：埼玉県労働会館2F教室

さいたま市浦和区常盤9-24-13 17:30～18:30

*指導委員会 報告(予算、行事、指導員制度について、日本山岳協会 指導員総会報告)

*フリーデイスカッション(指導員としての今後の活動について) 18:30～19:30

指導員研修会 講師 上級プロガイド佐藤博さん

研修内容：講義『初心者が起しやすすい危険な行動』

2. 指導員資格更新による埼玉県山岳連盟 指導員

会費納入のお願い。

該当者につきましては直接ご連絡いたします。

*公認スポーツ指導者「登録証」がクレジット機能付カードになり皆様は送金していただいたことと思えます。(指導員資格を更新されない方は野村まで、ご連絡お願いいたします)(この送金に関しては体育協会と日本山岳協会の更新登録費になり

ます)、埼玉県山岳連盟の指導員会費として別に4年に1回更新時ですので、4000円送金お願いいたします。郵便局記号(10310)番号(6890977)ホリエ ノブユ(指導委員会 ホリエさんの口座になります)

*振込みと同時に登録更新カードに、該当内容を記載し、所属山岳協会の確認欄にも記入され、野村まで同封の封筒にて返信お願いいたします。

*振込み確認後 指導委員会 印を押して、日本山岳協会にカードとともに登録申請いたします。

お問い合わせ

〒330-0043埼玉県さいたま市浦和区大東1-15-34 048-885-1470 (FAXも電話と同じ)

Eメール 《ynom@bb.ne.jp》

携帯090-4847-7750(伝言メモに伝言ください)

《第22回県民総合体育大会

コバトククライミングカップ要項》

主催：埼玉県教育委員会、埼玉県体育協会、

埼玉県山岳連盟、埼玉県高等学校体育連盟

後援：加須市教育委員会

主管：埼玉県山岳連盟・埼玉県高等学校体育連盟

登山専門部

日時：2009年11月29日(日)

受付8:30～9:00 競技開始9:45

会場：加須市民体育館・0480-62-6124)

カテゴリー・競技方法については左記クライミング委員会へ問い合わせください

※大会趣旨により、ジャパンカップクラスの参加者は御遠慮下さい。

参加費・人数：当日受付で納入して下さい

(保険料含む)。

先着70名まで。一般3,000円(但し埼玉

岳連会員証所持の方は2,700円)高校生以下2,000円、申込：別紙「申込書」に必要事項を記入の上、下記まで郵送またはFAXで申込みください。

〒347-0007 加須市下三保340-15

埼玉県山岳連盟クライミング委員会 上屋正昭 宛

Fax : 0480-62-7152 携帯 : 090-5176-2559

Mail : kazo-tni@gray.plala.or.jp

締切：11月13日(金)必着を厳守して下さい。

注意：参加者の怪我等に付いては必要に応じて応急処置はしますが、その他の一切の責任は負えませんので、十分注意を払って下さい。

社団法人 東京都山岳連盟新役員のご案内

東京都山岳連盟第六回通常総会にて左記のとおり

役員が改選され、就任のご案内がありました。

敬称略

【会長】 佐藤 旺

【副会長】 松元邦夫

【副会長】 寺内丈行

【副会長兼専務理事】 若村勝昭

【理事】 事務局長 山本春雄

【理事】

本木總子、宮地由文、中嶋正治、小尾健一、山中信幸、永井 豊、吉田信一、大澤康雄、広川健太郎、亀山健太郎、小池正器、阿部信茂、福田博信、瀧本 健、西嶋久貴、中村忠敬、森谷重一朗

埼玉県岳連・事務局

埼玉県山岳連盟

平成21年9月理事会報告

9月8日(火)午後7時30分
北本市中央公民館第4会議室

0. 出席

森下会長・柳原副会長・石倉副会長・天野理事長
(海外・遠峰)・瀬藤副理事長(遭対・溪稜)・野村指導
委員長(あゆむ)・長谷川国体委員長(熊谷)・鎌田ジュ
ニア委員長(高体連)・土屋クライミング委員長(加
須・ピナ)・岩崎自然保護委員長(戸田)・岩井田広報
委員長(委囁)・斉藤(藤)・堀江(桜草)・塩谷(大宮)・
吉田(JR大宮)・竹中(たらっぺ代理)・室伏(エコー)・
岡野(蓮田)・松井(高体連)・大石(高体連)・小茂田(高
体連)・道浦(加須SKC)・矢萩(加須BN)・鈴木(無名
山塾)・谷口(大宮岳稜)・町田(大宮M.S.N)・佐藤
(MAS)・桜井(壁稜)・伊藤(防衛医大)・加藤(事務局長
深谷)・計32名

1. 開会挨拶 (柳原副会長)

2. 報告

- (1) 関プロ千葉大会 (7/25-26) 報告・小茂田
- (2) 第12回JOCジュニアオリンピック大会 (8/14-16) ^別紙・強化委員会資料^ 小茂田

3. 協議

(1) 新加盟団体について

防衛医科大学校山岳同好会

代表(会長)：野々山(恵章) 副部長：伊藤(正孝)
↓伊藤(正孝)副部長さんが挨拶 どうぞよろしく
お願いします。

(2) 各理事の委員会所属について・各理事からの
連絡は無かったので、各委員長と相談して振り
分けます。↓防衛医科大学校山岳同好会：伊藤

正孝さんは、遭難対策委員会所属
(3) 国体選手派遣について
・成年男子と少年男子の選手
^別紙・強化委員会の資料^

今年から、山岳競技用ユニホームの規定が引き
試作した。

(4) 日山協専門委員会の常任委員候補者の推薦に
ついて

・競技委員会には、森下会長・土屋委員長・
佐藤(豊)理事を推薦する。他は昨年と同じ。
(5) 県スポーツリーダーバンク登録推薦について
締め切り済み↓「土屋クライミング委員長」
を推薦。

(6) 埼玉県自然公園指導員の推薦について
(7) 今後の事業の予定・計画について
○全国高等学校クライミング選抜大会について 今
年度は開催を見送ること(中止)になった。

●第22回県民総合体育大会コバトン
クライミングカップ 11/29 日・加須市民体育館
^別紙要項あり^

●ボルダリングジャパンカップ 11/21 土22 日
深谷クライミングビレッジ
日山協競技部北山委員長より開催要請あり
↓承認・役員を10名ほど派遣。

(8) 今後の指導員講習会について
・来年度は都岳連と合同の研修会を開催(都岳連
了承済み)

・今年度不開催の文書を発送する。

(9) 今年度の検討課題について (森下会長)

①個人会員制度について 調査をする
担当責任者：天野理事長

②ホームページ開設について
◎承認・取りあえず現在の仮のホームページを継

承。今後 ホームページに携わる人を推薦して欲
しい。(各会で相談して下さい)

・経費・手当は、順次検討していく。
(10) その他

①日山協共済事業について※1事業1岳連
5万円(限度額)↓指導委員会or遭対委員会で相談。

②会員証提示の割引等について
↓割引等一覧表の作成

※山岳関係者を知っている人は、今後も拡大を図
って下さい。

(これまで、小鹿野や自然保護関係、クライミン
グ関係者から、協賛の話を貰っています。)

③【お知らせ】
④ボルダリングワールドカップ2009加須大会の
主管費として、日山協より10万円を受領。

5. 各部からの報告等
①指導委員会

○日山協指導委員会の報告※日山協指導委員総会の
報告は登山月報485号に掲載。

●県岳連指導員総会兼講習会 10月18日(日)
17:30~19:30 埼玉県労働会館2F教室

○指導員資格の更新者の名簿を添付しました。関係
者が会に居ましたらお知らせ下さい。※今回
(10/18)の総会や研修会は、更新のための研修に入
っています。

●県岳連登攀技術講習会・指導員研修会 11月8日
(日)8:30~17:00 天覧山

②競技委員会(国体委員会・クライミング委員会)
●11/1日 8:30~ 第11回関東地区スポーツクラ
イミング競技会 東久留米スポーツセンター

・県分担金40000円 ※参加は、強化委員会で選
抜。

○平成21年度第2弾！埼玉岳連クライミング

講習会『ポルダリング&クライミングの基本』

9/12(土)

★多くの参加者をお待ちしています。(終了しました。)

●第22回県民総合体育大会コバトンクライミング

カップ 11/29日・加須市民体育館

※彩の国教育の日の一環として開催。

○熊谷スポーツ文化公園(財)埼玉県公園緑地協会・

杉山所長より話があり、8月下旬 土屋クライミ

ング、委員長・大倉事務局が視察に行く↓「公園の

壁をクライミングで利用してほしい」とのこと。

④選手強化委員会

●新潟国体が10月3日〜5日に開催されます。

成年男子と少年男子が出演します。応援をお願いします。

⑤遭難対策委員会

○平成21年度冬山遭難防止講習会 11/28-29

埼玉県スポーツ研修センター(上尾)

⑥自然保護委員会

○岳人の家(旧大滝小学校三峰分校)の運営

(会計)報告(2008・10〜2009・8)

※高体連と夏の事業の収益金で収支はトントン。

残金は、汲み取り料金とペンキ塗代に当てたい。

※継続秩父市より借用する。(2009・10〜2010・9)

○和名倉山・下草刈り・地(1)10/1

9/12(土)13(日) ※次回は11/14-15

⑦海外登山委員会

●海外登山報告会の開催 11月14日(土)14時〜

大宮ソニック603号室

★多くの参加者をお待ちしています。

○日山協海外登山女性懇談会12月17日(木)開催

(予定変更)講師:谷口けい(女性初ビオレドール賞 受賞)

⑧ジュニア委員会

○9月末より、地区毎に開催

南部:9/27 沢登り東部:9/28 クライミング

北部:10/4 大源太山 10/12 柴崎ロック

⑨広報委員会

○9月24日原稿締め切り・9月30日発行(34

号) 10月上旬発送A4×1400部

6. 閉会挨拶(石倉副会長) 今時は、若い人はクラ

イミングをしているが、山登りしている若い人はあ

まりいない。防衛医大さんのような若い人を歓迎し

ましょう。

□次回

■常任理事会10月13日(火) 19:30〜 北本中

央公民館

■理事会11月10日(火) 19:30〜 北本中央公民

館

《速報》 祝登頂!

県岳連・海外委員会 後援

『埼玉チャオ・オユー登山プロジェクトチーム09』

※ 隊長・大光山一(東松山山岳会)

※ 隊員・風間 進(浦和溪稜山岳会)

によるチャオ・オユー(8,201M)がネパール

時間・9月27日06時04分に登頂したとの連絡が

衛星電話を通じてプロジェクトチーム事務局(広

報・岩井田)あて連絡があった。 9/28・20:37

C2(7200m)から山頂までロングアタックをか

けて登頂。標高差10000mの登攀時間は約8時間。

天候を見極めて行動、前日の午後10時に出発。

帰国は予定とおりの10月10日の模様。なお詳細

は帰国を待つて正式に報告します。

プロジェクトチーム事務局・岩井田正昭

《県岳連・遭難対策委員会》お知らせ

新緑の季節も過ぎ、日々雨が続く頃となっております。皆さま冬山に備え忙しい日々をお過ごしのことと存知上げます。

さて、今年も例年のおり冬山遭難防止講習会を下記のとおり開催致します。貴山岳会におかれましては会員にご連絡していただき、お誘いあわせの多数のご参加をお願い致したく連絡致します。

記

1 要旨 冬山シーズンを前に埼玉県山岳連盟加盟団体及び関係諸団体の救急講習会及び遭難防止講習並びに講演会を行い遭難防止を図る。

2. 期 日 平成21年11月28日、29日

3. 場 所 埼玉県スポーツ研修センター

※参加費・研修参加資格・実施内容については、各山岳会あて送付済みですので、ご参照ください。問い合わせは090-6049-5842 遭対・瀬藤まで。

編集後書

今号は大変多数の投稿(クライミング、海外トレッキング、中国の登山報告)等を寄せて戴きました。増ページにも紙面の都合で全部を載せることが出来ず、お詫びいたします。(未掲載は次号に載せます)

また念願の8000M峰もついに登られました。埼玉岳連にとっても、一歩前進。比較的登り易いといわれても所詮高所登山、絶対に誰でも行かれるわけではないし、少数者での速攻登山は普段のトレーニングの積み重ねと、強固な意思が成功の一面と思えます。帰国後の報告が楽しみです。

広報 Omiwaida